

# 國盛が造られた伝統の蔵「酒の文化館」

日本酒にまつわる文化遺産の伝承を目的に、現在の工場が稼働する前に実際に使われていた伝統的な酒造りの道具や、当時の職人の技を紹介しています。建物は、酒造りを行ってきた蔵の姿をそのまま残しており、技術を繋いできた先人たちの記憶を継承し、國盛の歴史や酒造りの文化を今に伝えています。



お車で  
お越しの場合 知多半島道路・知多横断道路(セントレアライン)の半田中央ICから約15分

電車で  
お越しの場合 名鉄河和線知多半田駅から徒歩約15分  
JR東海武豊線半田駅から徒歩約10分

## 國盛酒の文化館



TEL.0569-23-1499

FAX.0569-23-1379

愛知県半田市東本町2丁目24番地

入館料/無料。電話でご予約ください。

開館時間/10時~16時まで(入館受付は15時30分まで)

休館日/木曜日(祝日の場合は翌日)、お盆、年末年始

定員/30名

※10名以上の団体のお客様は、スタッフが映画室までご案内いたします。

施設設備/館内のご見学(自由見学)、映画、試飲、お買い物だけのご利用もできます。

 中壘酒造株式会社

TEL.0569-23-1231

FAX.0569-23-1124

愛知県半田市東本町2丁目24番地



# 國盛酒の文化館







かつて酒を醸した  
道具たち

実際に酒造りに使われていた道具や、お酒にまつわる歴史的な資料も数多く展示。



尾州半田と  
酒造り

日本酒に関する知識や、知多のお酒にまつわる歴史を紹介しています。  
(季節催事に合わせ、展示を変更している場合がございます。)



フォトスポットで  
記念撮影



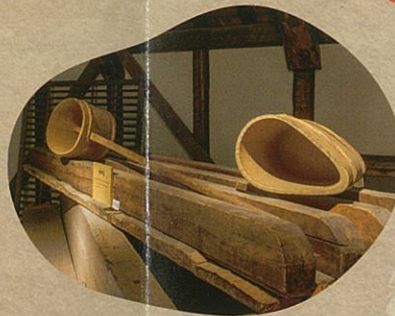
旅の思い出を  
肴に一献

さき酒コーナーではおすすめのお酒を試飲できます。ショップでは日本酒の他に梅酒・甘酒など多く取り扱っています。



当時の面影を残すあみだ車

天井には大桶など酒造道具などの上げ下ろしに使った大きな「あみだ車」が残されています。



映像で辿る  
國盛の物語

映像上映では、お酒の製造・醸造工程や國盛(知多のお酒)の歴史を分かりやすく紹介。



日本酒に関わる  
様々な展示



國盛のふるさと尾州半田は、温暖な気候と澄んだ空気に恵まれた銘醸地です。酒造りは江戸時代から盛んで、江戸と上方の中間に位置したことから「中国銘酒」として、江戸でも大いに愛されていました。一八四四年(弘化元年)、この好環境に創業した國盛は、自らの名の通り「国と共に盛ん」となり、全国で愛飲家を増やしています。

幾多の時代を超えて酒造りを行ってきた空間で、知多酒の歴史と國盛の伝統、そして先人たちの技などの貴重な文化遺産をたどりながら、展示、映像上映、お酒の試飲体験を通して、日本酒の文化に浸り、理解を深めていただくことができます。



半田運河に映える  
黒壁の蔵



重厚な黒塗りの壁の威風堂々とした建物で、かつての東南海地震や伊勢湾台風を耐え忍んだ酒蔵です。

